

二月のご案内

T567-0012
茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
TEL0725-33355 FAX0725-33375

温もりに誘われて咲きそろった梅が、今は厳しい寒さを耐え忍んでいます。
皆様には如何お過ごしでしょうか。
平成二十八年二月のご案内を申し上げます。
第二百五十五回

人生講座

日時 二月十四日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派布教使

巖水法乗 師



■巖水(いわみず)先生、六十六歳。平野区・浄覚寺住職。九州大分の大坊・流芳寺生れの熱血僧です!ご布教はもちろん、教誨師、篤志面接委員として撰取不捨の心で刑事施設収容者の懺悔の想いに寄り添っておられます。

■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

● 帰敬式(きききょうしき)を受式しましょう。

帰敬式とは、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、お念仏申す日暮を送ることを誓う、私たちにとって最も大切な儀式です。この帰敬式を受式され、仏弟子となった方に本願寺住職(ご門主さま)より法名が授与されます。帰敬式を受式し、共にお念仏を喜ぶ人生を歩みましょう。

1. 執行日 1月1日・1月16日の晨朝後、1月8日・12月20日の終日を除く毎日2回
 2. 執行時刻 午前の部:晨朝後引き続き/午後の部:午後1時30分
 3. 受式申込 午前の部は晨朝前、午後の部は執行時刻の1時間前までに参拝教化部まで
 4. 冥加金 成人:10000円/未成年:5000円
- ※詳しくは住職までお問い合わせください。

インドから日本へ

仏教の思想と文化

龍谷ミュージアム
RYUKYU MUSEUM
平常展

2016. 3/5-27

インドで仏教が誕生してから日本に至るまでの仏教の2500年の歩みを、大きく「アジアの仏教」と「日本の仏教」に分けて通覧します。多様な民族の顔に表現されたほとけたちのすがた、さまざまな言語に翻訳された、異なる文字で記された経典、地域を超えて共有されてきた物語などは、何より雄弁に仏教を取り巻く世界の広がりや繋がりとを伝えてくれることでしょう。

伝燈奉告法要団体参拝*平成29年4月28日

正信偈のつづき ⑦

◆本願名号正定業 至心信樂願為因
成等覚証大涅槃 必至滅度願成就

【意訳】本願成就のそのみ名を 信ずるところひとつにて ほとけのさとひらくこと 願い成りたるしるしなり

「本願名号正定業」とは、阿弥陀仏の名号は、十方の諸仏に我が名を褒められるようにと誓われた第十七願がすでに成就し、現にはたらいっており、私たちが往生成仏するために阿弥陀仏より回向された真実の行である。

「至心信樂願為因 成等覚証大涅槃 必至滅度願成就」とは、第十八願の真実の信心を得た時、ただちに正定聚となる。等正覚にいたり涅槃を証することは、第十一願の必至滅度の願が成就されているからである。このことを平生業成という。したがって、正定聚の者は、仏になることが定まり、もはや退くことがない。これが現世における利益である。滅度とは、涅槃の境界である。これは、浄土での利益である。『高僧和讃』に「願土にいたればすみやかに/無上涅槃を証してぞ/すなわち大悲をおこすなり/これを回向となづけたり」とあるのは、このことである。

◆如来所以興出世 唯説弥陀本願海

五濁悪時群生海 応信如来如実言

【意訳】教主世尊は弥陀仏の 誓い説かんと生(あれ)れたもうに ござりし世にしまどうもの おしえのまこと信ずべし

釈尊は、ひとえに阿弥陀仏の本願を説き開くためにこの世にお出ましになった。五濁悪世界の衆生は阿弥陀仏の本願に、ただひたすら信順すべきである。

いしかわきんや
石川欣也先生の
法話のダイヤル0743-53-4488

三月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一二
 浄土真宗 本願寺派 西福寺
 TEL072-532375 FAX072-532375

五年の歳月が過ぎて、いよいよ暮る思いがあります。五年の歳月が過ぎて、ますます深まる思いがあります。皆様には如何お過ごしでしょうか。

平成二十八年三月のご案内を申し上げます。
 第二百五十六回

人生講座

日時 三月十三日(日) 昼二時〜四時
 講師 本願寺派布教使

木本 和行 師

■木本(きもと)先生、五十一歳。大阪市東住吉区・信悦寺住職。長く少年教化に携わってきた経験を活かして、浪速少年院の教誨師として、罪を犯した少年の更生に尽力されています。

■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。



初参式

昨年1年間(平成27年1月1日〜12月31日)にお生まれになったお子様を対象に初参式を行います。

この世界に生を賜った喜びを感じ、ほとけの子として健やかな成長を願うご家族の皆さまのご参詣をお待ちしています。

と き: 4月9日(土) 午後1時より

ところ: 西福寺本堂ほか

受式冥加金: 5000円

申込み締切: 3月末日。
 お問い合わせ: 西福寺 (TEL 072-622-3725)

彼岸会寄席

桂文福一座来山



西福寺仏教婦人会3月の例会は、彼岸会(ひがんえ)寄席です。今年も文福一座の皆さまにお越しいただきます。桂文福さんは、昭和47年に五代目桂文枝師匠に入門されました。以来「出会い、ふれあい、わきあいあい」をモットーに100キロの巨体をものともせず、「ふるさと寄席」の座長として日本各地を飛び回っておられます。

当会員の方に限らず、どなたでもお参りいただけます。「佛説阿弥陀經」のお勤め後、お楽しみ下さい。

日時: 3月18日(金) 午後2時〜3時半

場所: 西福寺本堂

費用: 千円(運営協力金として)

伝燈奉告法要団体参拝*平成29年4月28日



ご家族の皆さまも一緒にどうぞ。

石川欣也先生の 法話のダイヤル 0743-53-4488

正信偈のススメ ⑧

◆能発一念喜愛心 不断煩惱得涅槃

凡聖逆謗齊回入 如衆水入海一味

【意訳】信心ひとたびおこりなばなやみを断たてすくいあり水のうしおとなるがごと凡夫とひじり一味なり

「能発一念喜愛心」とは、本願を聞いて喜びきわまる、一念歡喜の信心のことである。

「不断煩惱得涅槃」とは、願力の不思議により、我が身は煩惱を断つことができないうが、仏の側より涅槃にいたるべき身とならせていただく。

「凡聖逆謗齊回入 如衆水入海一味」とは、凡夫も聖人も五逆の罪人も佛法を誹謗する者も、大海のように広く深い智慧に満ちた本願によってひとしく収めとられていく。あたかもすべての河川がやがて必ず海にいたり、一味となって同化するさまと同じである。

◆攝取心光常照護 已能雖破無明闇

貪愛瞋憎之雲霧 常覆真實信心天

譬如日光覆雲霧 雲霧之下明無闇

【意訳】すくいの光 あきらけくうたがいの闇 晴れ去るも

まどいの雲は消えやらでつねにまことのそら覆う
 よし日の雲に隠るとも下に闇なきごとくなり

むさぼりといかりの心が雲や霧のように真實信心の天空を覆っていたとしても、阿弥陀仏が念仏の衆生を攝取する光は常にいたり届いており、無明の闇はすでに破られている。雲や霧によって太陽そのものの姿は見えなくても、大地は明るく照らされている。



四月のご案内

〒567-0012
茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
TEL073-533-3750 FAX073-533-3750

今年も桜前線の北上が始まりました。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十八年四月のご案内を申し上げます。

第二百五十七回

人生講座

日時 四月 十日(日) 昼二時〜四時
講師 たかつき保養キャンプ・プロジェクト代表

高谷 信善 師

■高谷(たかや)先生、四十歳。高槻市、善照寺法嗣。3.11福島原発事故による被ばくから、子どもを守るため避難、保養させたいという被災地の親たちの思いに応える活動がされています。また、仏教発祥の地であるインドにも度々訪ねておられ、行動力あふれる先生です。
■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

●花まつりパレード、ご協力よろしく願います。

やわらかな春の日差しがふりそそぐ中、お釈迦さまのご誕生を祝う「花まつり」に先立って、「花まつりパレード」を行います。新しい命の誕生を喜び、健やかな成長を願う心は親ばかりではありません。この地域に住むすべての人々の共通の思いです。パレードは、西福寺門徒総代・仏教婦人会役員の皆さんが先導し、子供たちが白ゾウを引きます。るんびに太鼓が笛・鉦・太鼓による楽を奏で、初参式受式者とその親族、住職と続きます。
コースは、西福寺から東太田児童遊園(通称ふね公園)を時計回りに周回する道路で、昼1時頃より約15分間の行程です。なお、雨天の場合は中止いたします。パレード実施中、コース周辺の皆様には大変ご迷惑おかけいたします。何卒、趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

西福寺住職

4月9日は、「花まつり」です。

「花御堂」を飾り、甘茶をかけてお釈迦さまのご誕生を祝います。あなたも、お友達をさそって、お参りください。みんな、素直な、良い子になりますように！



■昼2時から法要(15分程度)。
夜7時まで、お参りできます。

■先着50名の方には粗供養を進呈。
※昼1時から花まつりパレード実施。
かわいい白ゾウの引き手を大募集! 小学生対象。昼1時まで西福寺門前に集まってください(粗菓差し上げます)。

伝燈奉告法要団体参拝*平成29年4月28日

いしかわきんや
石川欣也先生の
法話のダイヤル0743-53-4488

正信偈のススメ

◆獲信見敬大慶喜 即横超截五悪趣

【意訳】信心よるこびうやまえばまよいの道は截ちきられ

「獲信見敬大慶喜」とは、仏法を聞いて忘れず、大いに喜ぶ人を「わがよき親友なり」(大経・下)と釈尊はおっしゃった。

「即横超截五悪趣」とは、一念慶喜の心おこれば、願力不思議ゆえに、ただちによこぎまに自然として地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天といった迷いの境涯を脱することができる。

◆一切善悪凡夫人 聞信如来弘誓願

【意訳】ほとけの誓い 信ずればいとおろかるものとても

すぐれし人とほめたまい 白蓮華のとぞ たたえま

善人であれ悪人であれ、阿弥陀仏の本願を聞き受けたとき、釈尊はこの人のことを「廣大勝解の人」(如来会・下)といい、「分陀利華(蓮華の中でも最も高貴な白蓮華)」「(観経)にたとえ、「上上人」(散善義)とも「希有人」(同)ともいつて誉め称えている。

◆弥陀仏本願念仏 邪見驕慢悪衆生

【意訳】南無阿弥陀仏のみおしえは

おごり・たかぶり・よこしまの
はかろう身にて信ぜんに難きなにもなおかたし

邪見のものと驕慢のものと悪人が、阿弥陀仏の本願の念仏を信順することは、この上なく難しい。

五月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九-三二
浄土真宗 本願寺派 西福寺
TEL 075-3355155 FAX 075-3355157

悲しみの癒えぬままに、新たな悲しみにくれる、待ったなしの人生です。
皆様には如何お過ごしでしょうか。
平成二十八年五月のご案内を申し上げます。

永代経法要厳修

日時 五月十四日(土) 昼二時・夜七時
十五日(日) 朝十時

講師 行信教校講師

山本攝叡師

■永代経は、「亡き人をご縁として、ご先祖から伝えて頂いた尊い仏法を、永代にわたり」伝えていくため「仏法聴聞の殿堂としてのお寺を護持して(管純和師著「仏事の小箱」より)」いこうと願われる方々によって営まれる法要です。

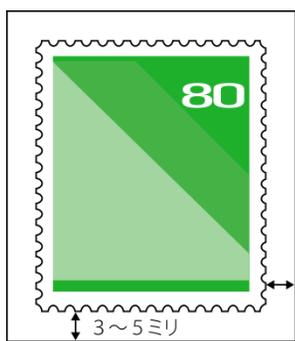
■お誘い合わせの上、ご参拝下さい。

◆ダーナ古切手収集活動について

大阪教区仏教婦人会連盟では、ダーナ活動の一環として、古切手収集活動を行っています。集まった古切手は、国連児童基金(ユニセフ)に寄付し、現金化された金額を献金しております。ご協力、よろしくお願い申し上げます。

― 注意事項 ―

- ▼日本の切手(普通の切手・記念切手)でも、外国の切手でも大丈夫です。
- ▼封筒は、切手のまわり3〜5ミリを残して切ってください。
- ▼切手の破れ・汚れ・折り目のあるものは無効です。
- ▼ハガキに印刷された切手・発行当日限り有効切手・収入印紙等は切手と認めません。
- ▼封筒に何枚もの切手が付いている場合、1枚1枚切り取らず、その外周を3〜5ミリを残して切ってください。



永代経に向けて(お願い)

毎回、世話役の方々が中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしくお願い致します。

■5月13日(金)午後7時〜於西福寺本堂
おかざり(供物をそなえつけます)



伝燈奉告法要団体参拝*平成29年4月28日

浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金

◆「平成28年熊本地震」災害義援金をお願い

2016(平成28)年4月14日に熊本県益城町を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生、また、16日に熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、熊本県を中心に九州各地方においても甚大な被害をもたらしました。

宗派においては、一日も早い復興を願い、緊急に「たすけあい運動募金」において災害義援金を募ることとし、標記義援金の受付を開始いたしました。

つきましては、募金にご協力いただきませう、下記の通りお願い申し上げます。

記

1. 募金の名称

浄土真宗本願寺派たすけあい運動募金
「平成28年熊本地震災害義援金」

2. 受付口座番号

郵便振替 010000469957
加入者名 たすけあい募金

※通信欄に「熊本地震」とご記入ください。

3. 受付期間

2016(平成28)年4月16日(土) から 当分の間

4. 問い合わせ先

〒600-8501
京都市下京区堀川通花屋町下ル
本願寺門前町
浄土真宗本願寺派伝道本部
社会部(災害対策担当)
TEL 075-371-5181
FAX 075-365-6199

以上

六月のご案内

〒567-0012
 茨木市東太田二丁目九三二
 浄土真宗 西福寺
 本願寺派
 TEL 0726-3375 FAX 0726-3375

境内のアジサイは、梅雨入りを待ちわびています。皆様には如何お過ごしでしょうか。
 平成二十八年六月のご案内を申し上げます。

第二百五十八回

人生講座

日時 六月十二日(日) 昼二時〜四時
 講師 本願寺派布教使



加藤真悟師

■加藤(かとう)先生、四十六歳。四条畷市、自然寺住職。先のアジア・太平洋戦争での惨害を反省し、戦争の放棄と軍隊の不保持をうたった憲法九条は、日本にとって平和の礎です。「念仏者九条の会」での活動を通じ、近年高まる改憲の動きに対して、毅然とした態度を表明されています。
 ■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

西福寺仏教婦人会総会

西福寺仏教婦人会は、真実を求めて生きぬかれた親鸞聖人のみあとをしたい、人間に生まれた尊さにめざめ、深く如来の本願を聞きひらき、み法の母として念仏生活にいそむ女性のための会です。京都・西本願寺での念仏奉仕団や当山報恩講など、女性ならではの細やかな心配りで、宗門と当山の護持発展にご尽力いただいています。また、彼岸会寄席やコンサート、研修旅行など楽しい行事もごさいます。
 左記の通り、総会を開催いたします。会員の皆さま、ご出席のほどよろしくお願い申し上げます。

日時/場所：2016(平成28)年6月14日(火)午前11時〜/西福寺本堂

※総会終了後、引き続き懇親会。軽食をご用意いたします。



西福寺上野門徒の皆さまとの協議を経て、このたび屋上に太陽光発電システムを設置しました。太陽電池の容量は、10・6kW。去る5月13日より40枚のQセルズ製太陽電池が発電しており、全量を関西電力が買取ります。向こう10年は、導入費用の返済に充てられますが、以降は、当山の維持に役立つものと期待されます。また、二酸化炭素の削減や石油資源の削減効果により、地球環境にも、ささやかながら貢献することでしょう。
 なお、設置工事は茨木市上郡のゴウダ株式会社が行いました。工事期間中、周辺の皆様には大変ご迷惑おかけしました。ご協力、誠に有難うございました。

西福寺住職

伝燈奉告法要団体参拝*平成29年4月28日

正信偈のふし

◆印度西天之論家 中夏日域之高僧
 顕大聖興世正意 明如来本誓応機

【意訳】七高僧はねんごろに釈迦のみこころ あらわして

弥陀の誓いを正機をばわれらにありとあかします

印度西天は天竺(インド)、中夏は唐土(中国)、日域は日本を指す。これら三国の祖師方は、念仏の一行をすすめた。そもそも、釈尊がこの世にお出ましになったのは、末世の凡夫をすくう手だてが、ただ阿弥陀仏の本願以外にないことを説き明かすためであった。

◆釈迦如来楞伽山 為衆告命南天竺

龍樹大士出於世 悉能摧破有無見

宣説大乘無上法 証歡喜地生安樂

【意訳】楞伽の山に釈迦説けり南天竺に比丘ありて

よこしまくじき 真実のべ 安樂國にうまれんと

みことのま、にあらわれし 龍樹大士はおしえます

龍樹菩薩は、八宗の祖師とも千部の論師とも称されている。釈尊の滅後五百年あまり後に生まれられた。釈尊は、生前『楞伽經』の中で「南天竺國に龍樹という比丘あるべし、よく有無の邪見を破して、大乘無上の法を説きて、歡喜地を証して安樂に往生すべし」と説かれ、龍樹菩薩のご出世を予言された。



石川欣也先生の
 法話のダイヤル0743-53-4488